

『水源地の森づくり』第5回植樹会を開催しました。

真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョンの推進施策の一つとして、森づくりによる「水源林の保全・育成」と森づくりの機運向上、上下流域の人々の交流と流域連携を目指して、ビジョン推進委員会主催で、NPO ドラゴンリバーの会員がドングリから育てた広葉樹の苗木を、ドラゴンリバー、漁協、県、市、発電事業者等参加者みんなで植えるという植樹会を、毎年、開催しています。

今年は11月7日(日)、真名川ダム上流の中島公園内と外1箇所において、第5回植樹会を開催しました。

当日は早朝より、地元大野市の下河副市長はじめ、NPOドラゴンリバー交流会、奥越漁業協同組合、九頭竜川中部漁業協同組合、福井県、電源開発(株)など、計24名の方にご参加いただき、各自が持ち寄ったスコップやクワなどでコナラなどの苗木 300本の植樹と過去に植えた苗木の周りの草刈を行い、紅葉も深まった真名川ダムの上流で汗を流しました。

○主 催 真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会

○参 加 者 ・NPOドラゴンリバー交流会
・奥越漁業協同組合
・九頭竜川中部漁業協同組合
・福井県奥越農林総合事務所
・大野市
・電源開発(株)
・近畿地方整備局河川部
・九頭竜川ダム統合管理事務所
24名

○苗 木 コナラ、クヌギ、シラカシ 300本
(NPOドラゴンリバー交流会会員がドングリから育てた苗木)

○道 具 スコップ、くわ、つるはしなどを各自が持参

○ 植樹会の様子

第1会場



第2会場

